矢巾町 令和８年度 次世代農業セミナー

# 10年先の先端技術経営から考える 未来の食糧供給企業のあるべき思考力！

現代の日本の農業が抱える「気候変動」「物価高騰」「人手不足」。
これらの課題を、AI・IT・異業種との掛け算で次々と突破し、今やグループ売上 65 億円へと急成長を遂げた「株式会社舞台ファーム」。
江戸時代から 300 年続く農家の 15 代目であり、日本のスマート農業の最前線を走る針生信夫氏をお招きし、これからの地域農業と地方創生のヒントを学びます。

針生氏：舞台ファーム HP より

講師ご紹介

## 針生 信夫 氏

株式会社舞台ファーム 代表取締役社長

1962 年宮城県仙台市生まれ。江戸時代から 300 年続く農家の 15 代目。2003 年に株式会社舞台ファームを設立。「持続可能な食と人と農業の未来を創る」をミッションに掲げ、異業種連携や最先端テクノロジーを駆使したスマート農業、大規模な 6 次産業化を次々と実現。アイリスオーヤマとの合弁会社「舞台アグリイノベーション」を設立するなど、日本の農業界のトップランナーとして注目を集め続けている。

## ◆ 本講演の注目ポイント！

① 日本最大級の植物工場「美里グリーンベース」の舞台裏
② 天候に左右されない AI 環境制御、１日５万株を出荷する圧倒的なオートメーション化とは？
③ 気候変動に負けない！「にじのきらめき」とコンビニ農法
④ 高温に強い多収穫米の全国展開と、本部が営農を徹底支援するフランチャイズ型農業の実態。
⑤ 農業×エネルギー＝「農エネ業」へのメガ進化
⑥ ２０２６年４月竣工、日本最大級のソーラーシェアリング。地方分散型データセンター構想まで。

## 開 催 概 要

**日時** 令和８年８月６日(木) 14:30 ～ 15:45（受付開始 14:00）
**会場** 矢巾町公民館 3階 大研修室
（紫波郡矢巾町大字南矢幅第 13 地割 123 番地）
**対象者** どなたでもご参加いただけます
**参加費** 無料（要事前申込）
**主催・共催** 矢巾町、矢巾町農商工共創協議会

※裏面に舞台ファームの取り組み紹介及び申込方法がございます。

## 株式会社舞台ファームの革新的取り組み

舞台ファームが実践する、日本の農業の未来を切り拓く 3 つのイノベーションです。本講演では、これらの具体的事例をもとに矢巾町の未来へのヒントを探ります。

### 1. スマート農業の最高峰

国内最大級の自動化植物工場「美里グリーンベース」を運営。2021 年に竣工した日本最大級の次世代型・自動化植物工場（建屋 5.1ha）です。

AI による環境制御・自動栽培：経験や勘に頼らない「データ主導型農業」を実践。

圧倒的な生産力：天然光と LED を併用し、天候不順のリスクをクリア。1 日 4 万～5 万株のレタスを安定出荷。

鮮度革命『いきてるレタス』：根っこ・土付きのまま販売することで「最低 1 週間は家庭のキッチンで生きたまま収穫できる」という、消費者のニーズを捉えたヒット商品を生み出しました。

### 2. 高温障害に強い「にじのきらめき」とコンビニ農法

多収穫品種の全国展開：コシヒカリに比べ 15%多収で、気候変動（高温障害）にも強い品種「にじのきらめき」の種籾を全国の農業者へ生産・販売。収穫玄米の買戻し制度も提供し、安定した販路を確保しています。

コンビニ農法の導入：50ha を 1 ユニットとし、4 農家（計 200ha）でライスセンターを共有。オペレーション本部が人・モノ・金・情報を支援する「フランチャイズ型」の営農支援システムを構築しています。

### 3.「農エネ業」への挑戦と DX の推進

営農型ソーラーシェアリング：2026 年 4 月に日本最大級の施設を竣工。「農業×エネルギー」の融合を加速させ、今後は地方分散型データセンター構築ビジネスへの参入も視野に入れています。

人材育成と DX 賞の受賞：優秀な外国人人材を“優秀な農業人財”へ育てる仕組み（外国人寮の整備や人材紹介業）を確立。ドローンやセンサーをフル活用し、中小企業庁の「DX 賞」も受賞しています。

**★５年後の目標： 売上高１００億円、営業利益率１０%超を目指し、さらなるイノベーションを続けています。**

## お申し込み・お問い合わせ

参加申込書をご提出いただくか（FAX 可）、お電話、または下記メールアドレス宛メールにて参加申し込みください。

**【お問い合わせ・事務局】**
矢巾町役場　未来戦略課
TEL:　019－611－2730（未来戦略課直通）
FAX:　019－611－2629
E-mail:　mirai@town.yahaba.iwate.jp